

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 14	14	百日咳	→ 1	0
RSウイルス感染症	↓ 80	99	ヘルパンギーナ	↑ 4	2
咽頭結膜熱	↓ 13	22	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 64	66
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	↓ 82	119	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 672	481	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 15	18
水痘	→ 84	84	細菌性髄膜炎	↑ 3	0
手足口病	↓ 1	4	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	→ 5	6	マイコプラズマ肺炎	↓ 5	7
突発性発しん	↑ 47	39	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 水痘
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 672 件(前週報告数 481 件)と増加。地区別では、有明、八代、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 113 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 84 件(前週報告数 84 件)と前週と同数であった。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 23 件を最多に 10～14 歳以下からの報告である。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 82 件(前週報告数 119 件)と減少。地区別では、菊池、熊本、阿蘇、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、6歳の 15 件を最多に主に 10～14 歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	11	25	9	38	148	29	1	3	14	1	0	28		12	3			2
山鹿保健所	0	0	0	0	32	6	0	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	1	4	1	19	86	17	0	2	6	0	0	16						
阿蘇保健所	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	19	0	0	92	1	0	0	6	0	0	4						
水俣保健所	0	2	0	0	33	0	0	0	3	0	0	1	*	*				
人吉保健所	1	1	0	5	28	3	0	0	4	0	0	2	*	*				2
有明保健所	0	2	3	4	139	15	0	0	6	0	0	9		3				
宇城保健所	0	18	0	6	49	3	0	0	2	0	0	2						
天草保健所	0	9	0	6	50	10	0	0	3	0	4	2						1
計	14	80	13	82	672	84	1	5	47	1	4	64	0	15	3	0	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5月	6～11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	14			1	1	3	1	1	1			2		1		1	1					
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	80	22	19	30	7	1	1															
咽頭結膜熱	13		1	5		2	1	3		1												
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	82			6	2	4	8	13	15	8	11	3	9		3							
感染性胃腸炎	672	5	45	113	62	74	67	52	55	35	40	28	47	4	45							
水痘	84	1	10	23	12	8	12	5	4	3	3	1	2									
手足口病	1						1															
伝染性紅斑	5	1	1				1		1		1											
突発性発しん	47		26	21																		
百日咳	1													1								
ヘルパンギーナ	4				2					1	1											
流行性耳下腺炎	64			4	3	7	7	9	9	8	5	3	9									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	15				1										6	3	1	1	1	1	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	3	1	1	1																		
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	5		1	1	2																	
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

< 感染性胃腸炎 >
菊池・八代・有明

インフルエンザ



今週のインフルエンザの報告数は14件でした。全国では、前々週に流行開始の目安である数値を超えて流行入りしました。インフルエンザは、1～3月にかけて流行するため、熊本県でも、今後注意が必要です。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。インフルエンザを予防するために、①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがいを習慣づける③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策を行いましょう。もし、インフルエンザにかかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。また、周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。特に、年末年始は人が集まる機会が多くなるので、体調管理をしっかり行きましょう。

